

所属・氏名（ 医療福祉学部 医療福祉学科 氏名：西村 いづみ ）

著書，学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の 名称	概 要
1 (著書) 学齢期の発達障害児と家族の 支援に向けて	単著	2020 年 10 月	社会再構築の挑戦 ー地域・多様性・未 来ー	家庭から学校へ生活の軸が移る学齢期にある、 発達障害のある子どもの母親に対し面接調査を 実施した。結果、発達障害であることに起因する 不利益から子どもを保護する行為をとりながら、同 時に、子どもの「不適応」とみなされる行動を制御 しようとする、障害専門ではなくとも、わが子を そのまま理解し受け入れる人・場の重要性に気づ くこと、などが認められた。学齢期以降、子ども の変化が障害特性の表れなのか、発達上の一時的 な表れなのかを見極め、助言を得られる機関は 乏しく、就学以降も子どもと家族に伴走し続ける 支援体制が求められる。：（総ページ数：16 頁） （著者：西村いづみ）
2 (学術論文) 「放課後活動利用にみる発達 障害児と家族の社会状況ー 母親を対象としたインタビュー 調査からの考察ー	単著	2018 年 11 月	子ども家庭福祉研究 第 18 号	発達障害児をもつ母親に対し放課後活動利用に 関するインタビュー調査を実施した。結果、母親 は、子どもの社会的居場所を放課後活動に求め ること等が明らかになった。放課後活動の選択に は発達障害児者支援体制が機能していないこと に起因する子どもの将来に対する母親の不安が 影響していることが示唆された。 （総頁数：18 頁）（著者：西村いづみ）
3 (発表) 放課後等デイサービス事業所 からの情報提供のあり方に関 する検討ー利用児の保護者を 対象とした質問紙調査ー	単独	2017 年 10 月	日本社会福祉学会 第 65 回大会（東京都 八王子市）	質問紙調査により、放課後等デイサービス事業所 を利用する子どもの保護者が認識する事業所か らの情報提供の実態等を明らかにした。結果、同 じ提供方法でも、情報の内容や、受け手（回答 者）の状況に合わせたものであるかによって事業 所への満足度が異なることが認められた。また、 伝える内容について、利用児の様子にとどまら ず、利用児への職員の対応とその結果（利用児 の反応）、今後の対応方針まで示されることに満 足感を得ていた。限られた時間の中で、保護者に 要点を伝える技術の習得が職員に求められる。 （発表者：西村いづみ）
3 治療薬使用にかかわる社会的 要因ー発達障害児を育てる母 親の語りを通してー	単独	2016 年 9 月	日本社会福祉学会 第 64 回大会（京都府 京都市）	どのような社会的要因が発達障害の子どもへの 治療薬使用に影響しているのかを明らかにし、子 ども・家族への支援について考察することを目的 に、小学生の発達障害児をもつ母親のインタビ ュー調査を実施した。結果、治療薬使用のき っかけや使用の仕方から、改めて学校を中心に 子どもの生活が構成されていること、そのような 生活を求める規範が母親に内在していることが 認められた。（発表者：西村いづみ）
4 (その他) 特別な教育的支援を必要とす る子どもの放課後生活に関する 実態調査	単著	2015 年 3 月	平成 25 年-29 年度 科学研究費基盤研 究（C）（課題番号 25380753）中間報告 書	特別支援学級在籍児・通級指導教室利用児の保 護者を対象に放課後生活調査を実施した。結果 を踏まえ、子どもと家族が望む放課後の場とし て、障害特性に配慮する人・設備を配置した活 動の実現とともに、放課後児童クラブなど広く 子どもを対象とした放課後活動の充実について 論じた。（総頁数：71 頁）（著者：西村いづみ）